

1 ICT活用のポイント

- ICTの活用により生み出された時間を活用して、互いの考えを吟味したり、社会的事象の特色や意味を考えたりする時間の充実を図る。
- 児童生徒がまとめた課題に対するまとめや学習感想、収集した資料等、ICTに蓄積された学習成果を、児童生徒の学習改善や教師の指導改善、学習評価等に生かす。

ICTの活用に当たっては、児童生徒が自ら問題意識をもち、問題解決の見通しを立て、資料や調査活動等で調べたことを基にして、社会的事象の特色や意味を考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする学習過程がより一層大切になります。

2 実際の活用例

- ・学習問題をつくるために、端末上で資料について気付いたことや疑問に思ったことを出し合い、話し合う。
- ・学習計画に沿って、問題解決に必要な情報を収集する。
→Webサイト等から情報を収集し端末に蓄積する。
→インタビューの様子などを撮影する。
- ・端末上の学習シートに調べて分かったことや考えたことを出し合い、共同編集の機能等を活用した内容の吟味や整理を通して、学習問題を解決する。
- ・個人やグループの考えを大型提示装置で発表する。



- 課題の追究や解決の見通しをもって児童生徒が主体的にICTを活用できるよう指導しているか。（問題解決的な学びになっているか。）
- ICTが教科の目標の実現に向かって効果的に活用できているか。
→効果的な活用場面を指導者がイメージできているか。

3 実践事例の紹介

【小学校・6年・社会・「わたしたちの暮らしを支える政治」】

育成を目指す資質・能力

B 1（個に応じた学習）

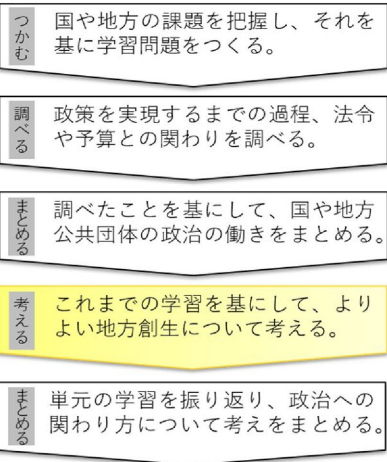
C 2（協働での意見整理）

政策の内容や計画から実施までの過程等に着目して、資料を比較したり関連付けたりすることを通して、日本や地域の活性化のために社会への関わり方を選択・判断している。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト プレゼンテーションソフト

- ・学習支援ソフトを活用して、共同編集によりグループで考えを整理したりまとめたりすることができる。
- ・振り返りシート（プレゼンテーションソフト）によって学びを振り返ったり、積み上げたりすることができる。

学習（単元）の流れ



事例の概要

< 学習支援ソフトについて >
 本事例では、グループや個人が活用できる学習シート（プレゼンテーションソフト）の活用を通して、学習改善や指導改善を図ることを目指した。グループや個人から提出された課題に対しては、「フィードバック」機能や「ループリック」機能により、コメントや学習状況の評価を行った。

< プレゼンテーションソフトについて >
 2つの方法でプレゼンテーションソフトを活用した。
 ①児童が、共同編集によりグループごとに意見を整理し、まとめた考えを電子黒板に映して発表するようにした。
 ②各時間の学びがつながるよう、児童が振り返りシート（プレゼンテーションソフト）に学習問題等に対する予想やまとめ、学習感想を書き、自分の学びを振り返ることができるようにした。

※ICTの効率的な活用のためには、児童がタイピング技術等を身に付けられるよう、計画的に練習の機会を設けることが大切である。

【中学校・2年・社会・「開国と幕府政治の終わり」】

育成を目指す資質・能力

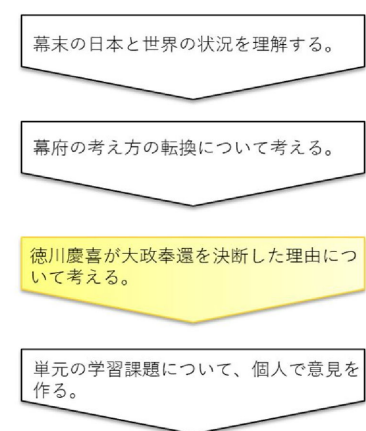
C 2（協働での意見整理）

幕府が開国を決断した理由について、考察したり、仲間と意見交換をしたりする中で、自分の意見を説明することができる。

ICT活用のポイント 【活用したソフトや機能】 ホワイトボードソフト 表計算ソフト

- ・ホワイトボードソフトを活用し、班ごとに討論し、徳川慶喜が大政奉還を決断した理由に迫る。
- ・単元の課題を解決するため、表計算ソフトを活用し、学習の積み重ねを行う。

学習の流れ



事例の概要

ペリー来航の翌年、日米和親条約が締結された。その時、態度を決めかねた幕府は、朝廷に報告し、初めて大名などに意見を求めた。幕府は開国賛成派が少ないにもかかわらず、開国の決断を下した。本実践では、この一見矛盾しているような幕府の判断について、当時の様々な立場の人々の意見を考えながら、根拠を明らかにしていく活動を行った。

ホワイトボードソフトを活用した場面では、付箋を用いた話し合いがしやすかった。パソコンの画面で意見を集約しつつ、班ごとに話し合った。また、班で集約した意見は学級でも説明し合い、学級全体での意見交換を行った。

さらに、単元の課題「260年続いた江戸幕府を滅亡させた一番の理由は何か」を解決するため、表計算ソフトを活用し、学習の積み重ね（振り返り）を行った。

Webサイトでは、上記の実践の詳細の他、次の事例も公開しています。

- 小学校5年・・・ホワイトボードソフト等を活用し、疑問等を整理しながら学習問題を設定した実践
- 中学校1年・・・プレゼンテーションソフトと学習支援ソフトを用いて個の考えを深めた実践

